

## 令和4年度 第3回学校運営協議会〈書面会議〉議事録

実施日：令和5年2月21日～3月3日  
会議形態：書面による会議（意見集約）  
記録者：副校長 村田克也

### 【出席委員】（委員数8名、書面回答参加者数6名）

池田 実 委員（地域連携部会長）  
池田 吉伸 委員（学校運営協議会副会長）  
竹村 聡美 委員（学校運営協議会会長）  
小林 瑞幸 委員  
里見 正憲 委員（キャリア教育部会長）  
嶋村 勝美 委員  
堀井 久章 委員  
田中 和也 委員（本校校長）

〈書面会議のため公聴席は設けませんでした〉

### 【書面会議】

#### 〈竹村会長あいさつ〉

しばらく続きましたコロナ禍では想定外のことが繰り返され、PTA活動も一つ一つ対処しながら手探り状態で進んでまいりました。来年度からは、新型コロナの感染症法上の位置付けが季節性インフルエンザなどと同じ分類に移行されることで、長きに亘るコロナ禍のトンネルからようやく抜け出しつつあります。深沢高校でも多くの活動や行事が、コロナ禍以前のように実施できるようになり、また、この間に培った経験でさらに発展できればと思っております。

さて、今回は今年度最後の学校運営協議会となります。書面での会議開催となり、皆様にお会いすることができず大変残念ではございますが、深沢高校と生徒達のより良い活動のために、忌憚のないご意見をお願いいたします。

#### 〈田中校長あいさつ〉

学校運営協議会委員の皆様には深沢高等学校の教育力向上にお力添えを賜り、誠にありがとうございます。

今年度は「3年ぶりに～ができた」という言葉を、いろいろな機会に耳にしました。コロナ禍による制約はありましたが、学校でもこれまでの経験を活かし、社会情勢を鑑みながら、体育祭や学校祭、修学旅行、合唱祭など、ほぼすべての行事等を実施できたこと、大変うれしく思っております。

年に3回設定されている学校運営協議会も、これまでの2回は対面で行うことができ、2回目は3年生で実施したARを活用した防災訓練を、ご一緒に体験していただくことができました。また、県立高校改革のⅢ期計画において藤沢清流高等学校との再編・統合対象校となったことも大変大きな出来事でした。

委員の皆様には添付した資料をご高覧のうえ、継続して伸長を図るべきこと、見直しによって改善すべきこと等々、来年度の学校経営に対する忌憚のないご意見をご教示くださいますようお願い申し上げます。

【協議題1】令和4年度の実施結果に対しての学校関係者評価（資料は省略します）

1 教育課程 学習指導について

承認数 6 不承認数 0

- ・授業改善が着実に実施されていて、生徒の学習意欲が高まっている。個別指導もていねいに行われていて生徒の満足度が高いことでとても評価できます。
- ・新教育課程の研究・授業改善プロジェクトの成果が具体化されているので、更に、生徒の期待に応えられるように取組んでいただければと思う。
- ・夏季休業中の15講座はどんなものだったか、気になりました。個別指導はやはり生徒の満足度が高いということで、先生方は大変かと思いますが、増やしていただきたいです。
- ・ICT機器の活用をロイロノートの導入によって進めていることは評価できる。時代に合った教育をしっかりと取り入れていくことは、次代を担う子どもにとって必要と考える。

2 生徒指導・支援について

承認数 6 不承認数 0

- ・深沢高校は従前から学校行事を大切にしたい取組が行われていて、生徒の取組む意識も高い。部活の加入率も他校より高いと伺っていて、先生方の指導の表れと評価致します。
- ・コロナ禍を乗り越え、様々な活動が実施され、生徒が充実した学校生活を送ることができ、生徒の主体性も高まったと思われる。
- ・部活動への加入率がもう少し高いといいですね。引き続き魅力的な発信を行ってください。
- ・図書館は、入りやすいしくみをすれば生徒達の活用も増えるそうです。深沢高校の図書館はどうでしょうか。
- ・各種の学校行事に対する生徒の満足度が高かったことは評価できる。

3 進路指導・支援について

承認数 6 不承認数 0

- ・殆どの生徒が進学する学校でありながら、インターンシップの実施や職業意識を高める取組は気苦勞も多い事だと思います。しかし、進路選択に役立つことだと考えますので今後も継続していただきたいと思います。
- ・生徒の進路決定に係る状況が大きく変化中、適切な進路指導が行われ、多くの生徒が希望する進路に進めることになったと思われる。
- ・希望の進路実現のために、早期に進路意識を高めたことにより、4年制大学進学希望8割につながったのでしょうか。
- ・3年生の子どもを持つ親としては、担任の先生はとても面倒見がよいという印象です。親よりも子どもの希望先を細かく調べてくださいました。
- ・インターンシップの参加率が高く、評価できる。希望する職種に、より多くの生徒が参加できればより効果はあると考える。

4 地域等との協働について

承認数 6 不承認数 0

- ・シチズンシップ教育及びボランティア活動は深沢高校の特色であると思います。これ等の体験活動は将来必ず役立つことと思いますので、授業や部活動と共に今後も地域との連携を深めて継続していただきたい。
- ・コロナ禍を乗り越え、屋外でのボランティア活動が実施され、また地域への発信が積極的に行われるなど、地域との連携が十分行われたと思われる。
- ・シチズンシップ教育にとどまらず、共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育にも力を入れてみてはどうでしょうか。
- ・コロナ禍での地域活動は大変だったと思います。地域の方々に愛される深高になってもらいたいで

す。

- ・地域社会を知り、さらには地域にある課題を解決する活動につなげられたら、これから社会に出た後の大きな糧になると思う。とても評価できる。

## 5 学校管理 学校運営について

承認数 6 不承認数 0

- ・校内における事故や不祥事はあってはならない事です。日々の取組や意識の向上が欠かせません。教職員間の連携や職場環境の整備等に留意するとともに教職員のモチベーションを高めていただきたいと思います。
- ・事故防止・感染症防止、職員の働き方改革について、適切に対応できていると思われる。
- ・先生方は休みも取りづらいイメージです。年休や有休をきちんと取得できる職場をアピールすることで、先生を目指す若者も増えると思いますので、頑張ってください。
- ・健康な生徒を育てるためには、教師自身が心身共に健康であることが大切である。取組は評価できる。

### 【協議題2】学校運営に関する意見聴取

- ・深沢高校は県立高校改革実施計画（Ⅲ期）に於いて、藤沢清流高校と再編統合されることとなりました。完校することは誠に残念で淋しい限りですが、残す4年間、先生方には生徒指導と地域との連携を深めていただき、学校運営にご尽力いただきたいと思います。
- ・ARを活用した防災訓練など、防災に対する生徒の意識を高める工夫を感じました。これからもICTを取り入れた教育活動に期待します。
- ・全体として、生徒が落ち着いた環境の下で充実した学校生活を送ることができるように、学校、家庭、地域が協働することができていると思われる。
- ・令和5年度の38期生募集人員は、最終的に263名の受検者となり、まだまだ深沢高校の人気の高いと思いました。クラス数が少なく、こぢんまりしているという利点を生かして、完校まで、素敵な学校運営をお願いします。

以上